

# 平成 24 年度南区地域自立支援協議会活動報告

南区地域自立支援協議会事務局

## 総括

南区地域自立支援協議会は、平成 22 年 5 月の代表者会議で設置されてから、2 年 10 ヶ月が過ぎた。本年度は昨年の専門部会の活動内容から大幅に活動を縮小し、事務局活動に重点を置く形で本年度は活動してきている。

**「南区に生活する障害児者が、本人の特性やライフステージに応じ、充実した地域生活が送れるように、地域として支援していく」**目標（理念）の元、ケアマネジメントの視点の共有や、個別支援会議が活発に行われる地域を目指して、別項で報告するように、事務局が各事業所へ積極的に出向いていき、当事者理解のための勉強会や個別支援計画作成の会議への参加、各事業所での打ち合わせ等を通じて個別支援会議の開催支援を展開している。

専門部会の活動は、精神障害者専門部会と知的障害・身体障害者専門部会の重心分科会という二つの専門部会のみとし、事務局活動に傾注できる環境を整えているが、ここでの活動もまた、事例検討を軸として個の支援についての検討を重ねていく場となっている。事務局活動と各専門部会の活動の積み重ねから、地域における課題抽出に至ることは出来ていないが、今後もこれらの活動を継続していく事が出来るのであれば地域自立支援協議会のキーとなる個別支援会議が活発に行われる地域を目指すための一歩を踏み出せたのではないかと考えている。

また、南区自立支援協議会に位置付けるその他の活動は「スキルアップ研修」を例年通り実施し、支援機関同士の顔が見える関係づくりと互いの支援を知る機会としている。また、「南区卒業生進路懇談会」においては、卒業生をイメージできるような工夫を行い、懇談会の場でより具体的な話し合いが行われるようにしている。「公開講座」は昨年引き続き、南公会堂にて地域住民に向けた講演会を企画・運営していく予定となっている。

以上が、今年度の南区地域自立支援協議会の活動の概略である。協議会の活動のキーである個別支援会議の開催の支援については、まだまだ物足りない感は否めないが、来年度も、地域の障害のある方を中心において、地域自立支援協議会としてできることを真剣に取り組んでいきたい。

## I 平成 24 年度活動報告

### 活動方針

障害者相談支援事業の浸透、個別支援会議の普及。

ケアマネジメントの視点を共有するために各事業所の要望や現状に合わせた形で、個別支援会議開催のための支援を行っていく。

#### 1 知的・身障系事業所 個別支援会議開催支援

- ① 事業所(作業所など)に訪問し、相談支援員・区ケースワーカーが各事業所の要望や現状に合わせて個別支援会議開催を支援していく。

地域活動支援センター ぼれぼれ	H24 年 10 月 26 日	9/14 に事前打ち合わせの上、事務局が支援する形で個別支援会議を開催。障害者支援センター瀧澤氏を招いている。
地域活動支援センター ラフォーレさくら	H24 年 9 月 20 日	事務局が支援する形で、通所者が入居するケアホーム職員と合同で個別支援会議を開催。
NPO 法人あいの木	H24 年 8 月 24 日	事務局との打ち合わせの上、各事業所から 1 ケースという形で合同ケース検討会を実施。二次相談から、横浜市更生相談所 中込氏、総合保健医療センター 飯塚氏を招いている。
NPO 法人あいの木	H25 年 1 月 25 日	事務局との打ち合わせの上、合同ケース検討会を実施。障害者支援センター瀧澤氏を招いている。

- ② 事業所の要請に基づいて、個別支援計画作成の会議に参加・傍聴していく。

事業所・団体	実施日	内容
南福祉ホームむつみ	H24 年 6 月 22 日	事務局が訪問し、むつみが世帯としての支援が必要と感じている通所者について話しを聞いている。その後、日関係機関への確認を事務局で行い、世帯への支援状況を確認している。また、別の通所者についての検討を継続中。
地域活動支援センター ぼれぼれ	H24 年 9 月 3 日	事務局が訪問し、ぼれぼれの支援会議に参加。特に世帯への支援が必要と思われる通所者について検討している。
地域活動支援センター めざみ	H25 年 1 月 11 日	事務局が訪問し、めざみが世帯としての支援が必要と感じている通所者について話しを聞いている。その中から支援の必要性が高いと思われる方についてどのように対応していくか検討中。

地域活動支援センター ラフォーレさくら	H24 年 7/31、 8/10、9/14、10/15、 11/14、12/11、H25 年 1/24、2/14、 3/26(予定)	事務局が訪問し、個別支援計画作成会議に参加している。
NPO 法人ぞうの歌	H24 年 2/23、 3/16、4/19、5/24、 7/25、9/25、11/20、 H25 年 1/29、 3/28(予定)	事務局が訪問し、勉強会に参加している。9/25、11/20は入居者の個別支援計画について意見交換をしている。
NPO 法人あいの木	H24 年 4/27、 7/27、9/21、	当事者理解、個別支援計画を検討する際の視点などに関わる勉強会を実施。

## 2 精神系事業所

- ・精神系事業所については精神の専門部会での活動を中心とする。  
詳細は「専門部会活動」の頁を参照。

## 3 担当

地域生活支援センター南海相談員、サザンウインド相談員、南区高齢・障害支援担当ケースワーカー等



＜第3回 11月16日＞

参加機関	議題	内容
浦舟園	参加者11名  1. 事例検討 *提供者:発達障害者支援センター *司会:地域生活支援センター 南海  2. その他連絡事項	事例タイトル:「就労に向けて課題があるが、本人に課題意識がない利用者へのアプローチ」 Aさん 24歳 男性 病名:アスペルガー症候群 精神障害者手帳3級 知能検査:全検査IQ112、言語性IQ107、動作性IQ115 発達障害者支援センターの初回相談は本人大学2年生。単位取得できず、留年していた。卒業の為の相談だったが、2回目の相談時には退学を決めていた。なので就労相談へ方向性を変更する。アルバイト経験はあるが、指示が聞き取れていない、態度が悪いと指摘されていた。支援センターでは作業は早い、雑。挨拶・報告・質問などはあまりできない。その後、PCの職業訓練を半年間受講。しかし、受講終了後は資格取得より就労したいとのことで、就労活動を再開する。就労に向けて準備をした方がいいと提案し、職業センターを利用。作業は早い、手順書通りにできない。なぜできないのか本人に聞いてみても、明確なレスポンスがない。障害をオープンにして、正社員で就職したい。PCを使う仕事がしたいとのこと。事例検討では、就労が本当にやりたい事なのか、PC関係に就きたいとの事だが、本当にPC関係の仕事がやりたいのかとの質問が出る。就労をする事が課題ではなく、活動を行っているだけでもいいのではとの意見も。フィードバックの方法を工夫する事で、意思疎通が図れるのでは。すぐにではなく、気長に取り組む事も負担なく支援できるのではと話し合う。
コスモス蒔田		
コスモス南太田		
中央浩生館		
地域生活支援センター南海		
ホームコスモス		
横浜市総合保健医療センター		
横浜市立大学付属市民総合医療センター		
横浜市発達障害者支援センター		
南区社会福祉協議会		
南区生活支援センターサザンウインド		
南区福祉保健センター高齢・障害支援課		
南区地域自立支援協議会事務局		

＜第4回 1月15日＞

参加機関	議題	内容
浦舟園	参加者12名  1. 事例検討 *提供者:南区生活支援センター *司会:サザンワーク  2. その他連絡事項	事例タイトル:「自己愛が強く、他罰的なAさん」 検討事項:「フリースペースで対人トラブルを繰り返すAさんにどう対応していくか」「トラブルになった相手や他利用者にもどう対応していくか」 Aさん 46歳 女性 病名:てんかん 精神科への定期通院と服薬管理はできている。叔母と数年間、同居してきたが叔母の施設入所により、現在単身生活となる。生活リズムは規則正しく、週2回のヘルパー利用(食事・掃除)とセンターの食事サービス等で食生活も安定している。金銭管理も家計簿をつけており、今のところしっかりできている。現在生活支援センターを利用しているが、他利用者とのトラブルが多く例を挙げると、*食堂でAさんが他利用者にも命令口調になっている。他利用者は命令口調に反発して言い合いが続くので、職員が仲裁に入る。*仲の良かった他利用者とゴミ収集所のルールについて話していると、すれ違いで大声で数分間に渡り怒る。このような事を通院先の担当医師に相談。Aさんの意にそぐわないと、リストカットなどの自傷行為につながる場合がある。本人の対応について医師から助言を受けた。その後職員間で検討し、2点の対応を試した。①毅然とした態度で距離感を一定に保つ。②本人が置かれた状況を直視させ意識化させる。しかしAさんが対人トラブルを起こすたびに直視化を試してみたが、Aさんは話をすり替えたり、職員が攻撃の対象になってしまう事も多かった。トラブルになった相手や周囲を守るために、Aさんが起こすトラブルに早めに介入するようになったが、それは他者にAさんの印象を悪くさせない配慮する意図があったが、Aさんが直視化することで力をつける機会を失わせていることに気づき、過保護的で依存的な関係を築いてしまった。結果として、本人に状況の直視化を行い認識させていく事と合わせて、強化すべき行動の評価を行っていく事となった。最低限のルールを明確にし、提示する必要性も確認している。
サザンワーク		
中央浩生館		
地域生活支援センター南海		
地域生活支援センター南海・後見的支援		
ホームコスモス		
横浜市総合保健医療センター		
横浜市立大学付属市民総合医療センター		
横浜市発達障害者支援センター		
南区生活支援センターサザンウインド		
南区福祉保健センター高齢・障害支援課		
南区地域自立支援協議会事務局		

＜第5回 3月8日＞

参加機関	議題	内容
浦舟園	参加者10名  1. 自己紹介  2. H24年度 精神部会振り返り *事例検討中心に行ってきたが  3. H25年度 精神部会活動内容 *活動内容をどうするか？  4. その他連絡事項	今年度の精神部会振り返りと、感想を参加機関に聞く。今年度も前年度と同じく引き続き事例を中心に4事例の検討を行った。感想は、各施設の事情、施設が抱えている問題等、事例を通して支援内容を知り、施設の話が聞けて良かったとの感想が多かった。参加することで、互いの顔が見え、業務の中で連携がとりやすかったとの感想もあった。各4事例を通して地域課題を抽出する事は難しかったが、今年度共通する課題で上がったのは、「連携」だった。来年度の活動内容をどうするかについては、参加機関と話し合い、結果来年度も引き続き継続することになる。事例を通して各施設の個別課題についての検討を第一に考え、最終的に地域課題を見出していければと考えた。又、情報交換の場が必要とも話し合いで上がり、来年度は事例検討の他、情報交換の場も設ける事とした。
コスモス南太田		
民衆館		
地域生活支援センター南海		
横浜市立大学付属市民総合医療センター		
横浜市発達障害者支援センター		
南区メディカルセンター訪問看護ステーション		
南区生活支援センターサザンウインド		
南区福祉保健センター高齢・障害支援課		
南区地域自立支援協議会事務局		

＜今年度について＞

年5回の活動の全てに事例検討・発表の時間を設け、報告はタイムスケジュールに則って行った。発表をすることで、各事例からあげられた課題を集約し地域課題を抽出しやすくなるとともに、事業所の支援内容を他施設・機関に紹介することにつながると考えた。又、顔の見える関係・支援者間での連携の図れるネットワーク作りを目指す。

＜来年度について＞

活動の全てに事例検討・発表・情報交換の場の時間を設ける予定である。事例検討・発表をすることで、各事例からあげられた個別課題についての検討を第一に考え、最終的に地域課題を見出していければと考えている。又、各事業所の支援内容を他施設・機関に紹介・情報交換する事により、顔の見える関係・支援者間での連携の図れるネットワーク作りを今後も目指していく予定。

## II-② 平成24年度 知的障害・身体障害専門部会 活動報告

### <活動計画>

#### 重症心身障害児・者分科会

今年度は事務局活動に傾注するために、専門部会を重症心身障害児・者分科会のみとしている。

### <参加機関>

こども医療センター、中央児童相談所、中村特別支援学校、上菅田特別支援学校、事務局

### 《 重症心身障害児・者分科会 》

日時	議題	内容
H24年10月11日(木) 15:00～17:00	1、自己紹介 2、情報交換 3、今後の予定について 4、その他連絡事項	1、新たにメンバーとなっていた機関を中心に自己紹介を実施。 2、重心多機能施設についてや、法改正による今後の支援機関の役割などについて意見交換。 3、今年度は事務局の都合で構成メンバーの予定が合わなかったことから、10月が初回となってしまったが、前年同様2か月毎に実施していく事を確認している。
H24年12月13日(木) 15:00～17:00	1、事例検討 2、情報交換 3、その他 連絡事項	1、中村特別支援学校からの事例について検討を実施。支援に至る為の方策について具体的に協議している。 2、重症心身障害児者支援実務研修について。平成24、4～の児相→区への業務移管の現状について。 3、次回は2月7日(木)に実施の予定。内容は事例検討と会の運営についての意見交換を実施の予定。
H25年2月7日(木) 15:00～17:00	1、事例検討 2、次年度の活動について 3、その他 連絡事項	1、南海からの事例について検討を実施。精神疾患を持つ母親の障害児の育児についての意見交換を行っている。 2、次年度の活動については、子ども家庭支援課の参加を促し継続して児相の参加も打診していくこととなった。その上で、重心分科会は現状通りの活動を継続していくこととなった。 3、次回は4月25日(木)(平成25年度、第一回として)に実施の予定。内容は事例検討と会の運営についての意見交換を実施の予定。

### <今年度について>

今年度は、参加機関の日程が合わずに初回が10月までずれ込んでしまい、3回の実施で終わってしまっている。しかし、前年度から引き続き参加しているメンバーが多く、事例検討に関してはお互いに緊張感も少なく活発な意見交換が出来ている。情報交換の内容としては、次年度からの児童相談所育成係で対応していた当事者への支援が各区のこども家庭支援課へ移行に関する内容となっている。

### <次年度について>

次年度も引き続き、事例検討を軸に活動を進めていく。また、児童相談所育成係の業務を区役所に一部移管されることもあるので、こども家庭支援課、児童相談所の参加を求め、業務移管に伴う情報交換の場としても機能していけるようにしていきたい。

### Ⅲ 南区地域自立支援協議会に位置付けるその他活動 活動報告

#### 1 スキルアップ研修

- ・「地域を知り、支援を知る」という今年度の目標に基づき、事務局及び各機関職員のスキルアップと顔の見える関係の構築を図るため、昨年に引き続き構成団体・機関の方々に御協力をいただき、スキルアップ研修会を実施させて頂いております。今年度は8月から12月の間に20の機関で研修の受け入れをしていただきながら、16機関・延べ人数で116名の受講者が研修に参加しております。

#### 2 公開講座

- ・今年度は、南公会堂にて「障がい福祉講演会 ～障がいがあっても、あたりまえに暮らせる「まち」にするために、…」と題して、地域の方々に向けた講演会を実施する予定です。詳しくは別添えのチラシをご覧ください。

#### 3 南区卒業生進路懇談会

- ・今年度も第1回を7月10日(火)に実施し、卒業生や各事業所の情報共有を図っています。参加機関からは、2年生の見学の増加についてや、並行通所に至った場合、本人への支援からの必要性である事が重要である事についての意見がありました。就労に関しては在学中の就労意欲醸成の必要性や就労の基盤となる生活面への支援を多機関で行う必要性について発言がありました。昨年との変更点としては区内の卒業生に関する資料を用意し、各卒業生について具体的なイメージを持てるようにしています。

第2回目は平成25年1月22日(火)に実施し、卒業生の進路についての確認と意見交換を実施。会場からは次年度の身体障害を持つ卒業生の進路の不足について、不登校から完全在宅になってしまう児童についての発言がありました。また、次年度に関しても今年度と同様の内容で進めていく事を確認しています。

## 24年度スキルアップ研修受入機関及び参加申し込み一覧

	受入機関	参加人数	研修参加機関
①	保土ヶ谷養護学校	19	サンクステンプ(1名) 中部地域療育センター(2名) あいの木なかざと(1名) こども医療センター(2名) どんとこい・みなみ(3名) たすけあいゆいさくらんぼ(10名)
②	清明の郷	7	ホームコスモス(3名) どんとこい・みなみ(3名) キッズサポートどんと(1名)
③	南福祉ホームむつみ	2	どんとこい・みなみ(2名)
④	こども医療センター	4	コスモス蒔田(1名) さぽーと・なみ(1名) どんとこい・みなみ(2名)
⑤	横浜市発達障害者支援センター	15	サンクステンプ(2名) コスモス蒔田(2名) 中部地域療育センター(2名) さぽーと・なみ(2名) こども医療センター(1名) コスモス南太田(2名) どんとこい・みなみ(2名) 南区社会福祉協議会(2名)
⑥	浦舟園	7	コスモス蒔田(2名) コスモス南太田(3名) どんとこい・みなみ(1名) キッズサポートどんと(1名)
⑦	サンクステンプ	2	さぽーと・なみ(1名) コスモス南太田(1名)
⑧	南区社会福祉協議会 ボランティアC・あんしんC	2	こども医療センター(1名) どんとこい・みなみ(1名)
⑨	中村特別支援学校	7	中部地域療育センター(2名) 福祉ホームむつみ(1名) どんとこい・みなみ(3名) こども家庭支援課(1名)
⑩	南区生活支援センター サザンウィンド	4	コスモス蒔田(2名) さぽーと・なみ(1名) ホームコスモス(1名)
⑪	横浜国立大学教育人間科学部 附属特別支援学校	7	サンクステンプ(1名) 中部地域療育センター(1名) あいの木なかざと(1名) こども家庭支援課(1名) さぽーと・なみ(1名) こども医療センター(1名) どんとこい・みなみ(1名)
⑫	上菅田特別支援学校	17	たすけあいゆいさくらんぼ(9名) こども家庭支援課(1名) どんとこい・みなみ(4名) さぽーと・なみ(1名) こども医療センター(1名) NPO法人あいの木(1名)
⑬	どんとこい・みなみ	3	中部地域療育センター(2名) 福祉ホームむつみ(1名)
⑭	南授産	4	コスモス蒔田(1名) どんとこい・みなみ(3名)
⑮	中部療育センター	5	NPO法人あいの木(1名) こども家庭支援課(1名) どんとこい・みなみ(3名)
⑯	横浜市総合保健医療センター	1	中部地域療育センター(1名)
⑰	あいの木	2	福祉ホームむつみ(1名) コスモス南太田(1名)
⑱	金沢養護学校	6	サンクステンプ(1名) 地域生活支援センター南海(1名) こども医療センター(2名) キッズサポートどんと(1名)
⑲	たすけあいゆい さくらんぼ	2	中部地域療育センター(1名) 福祉ホームむつみ(1名)
⑳	フレンズ南	0	
	<b>合計</b>	<b>116</b>	